



MLA48 プロジェクト 趣意書

2013年4月19日

MLA48 プロジェクト 企画チーム

*本趣意書は、2013年3月11日に作成した「MLA48 プロジェクト企画書」を抜粋し参加をご希望されるみなさまにプロジェクトの趣意を説明するものです。

目次

1. プロジェクトの名称と目的
2. 主な検討項目
3. 実施体制
4. 実施スケジュール
5. 運営方針

1. プロジェクト名称と目的

本プロジェクトは、理論的にもコンパクトアンテナとして確立している磁気共鳴型ループアンテナについて、多くの方々の知見を活用して、高性能で、安価で、使いやすいアンテナを、理論、製作、設置まで含めて解説し、広く適用を図るものである。

プロジェクト名称を「MLA48プロジェクト」とする。同じ秋葉原を原点とするAKB48に倣い、主にアマチュア無線にかかわる方々に広く愛される活動にすることにちなんだ名称である。

プロジェクト・ロゴは右の図のとおりとする。



2. 主な検討項目

- 1) 可変キャパシタの見直し (14MHzから28MHzまで、連続可変)
- 2) 高耐圧化 (耐入力200Wを目指す)
- 3) 制御方法の高度化
- 4) 同調機構 (ステッピングモータを用い遠隔からアンテナ共振周波数を制御する)
- 5) バンド間移動 (プリセット機能, 14, 18, 21, 24, 28MHz を用意する)
- 6) バンド内移動 (低速、超低速を選択できるようにする)
- 7) リグとの連携 (リグコントロール機能を利用して、前項の機能を行えるようにする)
- 8) パソコンとの連携 (前項の機能を、HRD あるいはパソコンから制御できるようにする)
- 9) 制御線の構成 (遠隔コントロールするための制御線のコモンモード対策等)

- 10) ステルス志向 (出来るだけ外側から見えない形で設置できる方法を提案する)
- 11) DX志向 (DXが出来る性能が得られる設置方法を提案する)

- 12) 超低インピーダンス部位に関する製作方法の確立
- 13) 高圧部分に関する製作方法の確立

3. 実施体制

発起人	戸越 俊郎 (JF1VNR)、村吉 統一 (JA1Q0J)、小暮 裕明 (JG1UNE)
事務局	戸越 俊郎 (JF1VNR)
理論解析担当	小暮 裕明
企画担当	村吉 統一、戸越 俊郎
開発担当	チーム M (コンデンサー) 村吉 統一、戸越 俊郎 チーム L ((制御システム) 石田 慎一、戸越 俊郎 チーム A (設置システム)、小暮 裕明
製作関係	村吉 統一
評価関係	戸越 俊郎
会計	小暮 裕明

4. 実施スケジュール(案)

2013年3月3日 スタート
2013年5月 活動公表
2013年7月 試作品完成

5. 運営方針

当面は、Dropbox で情報の共有化を図る。

メンバー (営利目的の方は除く) は、趣味として興味を持つ方をCQ誌等で公募する。

メンバー1; 公募に応募していただいた方。活動を分担いただき積極的に参加いただける方。

メンバー2; 公募に応募していただいた方。プロジェクト・ニュースをHP上で閲覧でき、意見をいただける方。

プロジェクトは非営利とするが、材料費及びプロジェクト活動にかかる交通費等の経費は、主にメンバーからの寄付による。

*メンバーからの会費は徴収しないが、寄付は大歓迎 (hi)。

興味を持つ方々が自作できるよう、プロジェクトで検討した内容を公開するが、自作が難しく又調達が難しい部品については、プロジェクトが提供する。

(例; アルミ製ループ本体、可変コンデンサー、高圧回路、低インピーダンス回路、制御回路など)

以上